

リンパ管奇形に対する越婢加朮湯の効果を

評価する臨床研究

令和3-5年度 AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業 採択研究

臨床研究へのご協力をお願い

世界のリンパ管奇形患者さんの治療に越婢加朮湯という選択肢を提供するために、この研究により、リンパ管奇形の治療に越婢加朮湯が有効であることを証明したいため、ご協力をお願いしております。

患者さんの登録は、原則的に**2023年6月31日**まで受け付けております。

研究の意義

リンパ管奇形の治療には、硬化療法、外科的切除、薬物療法としてmTOR阻害剤があります。硬化療法では炎症が一旦激しくなること、手術のみでは完全切除は難しいこと、mTOR阻害剤は重篤な副作用の可能性もあるうえ、高価な薬であるため、患者さんへの経済的負担が大きいという問題点があります。

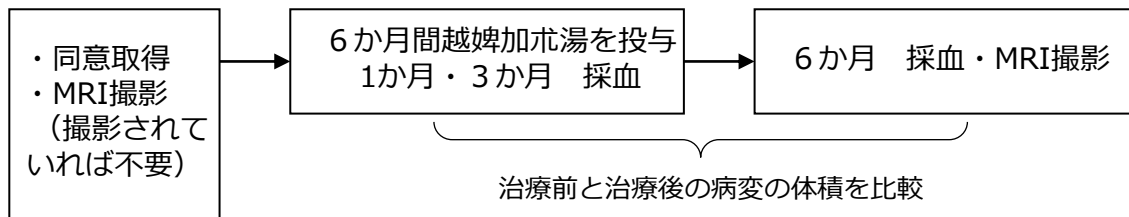
越婢加朮湯は、副作用は少なく安価なため、これを患者さんの治療の選択肢に加えることは重要です。本研究により**世界の患者さんに投与が可能になる可能性**があります。

研究の目的

リンパ管奇形患者に対する越婢加朮湯投与の有効性、安全性などを調べるため、治療の前後で病変の体積を比較を行い、治療がうまくいったかどうか検証します。

研究の方法

体重25kg以下で未治療の患者さんを対象に、以下のとおり研究を行います。



臨床研究実施施設：広島大学病院 小児外科

大阪大学医学部附属病院 小児外科

金沢大学附属病院 小児外科

日本大学医学部 小児外科

国立成育医療研究センター小児外科

慶応義塾大学病院 小児外科

聖マリアンナ医科大学 小児外科

【連絡先】広島大学病院 漢方診療センター 小川恵子

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

E-mail : okeiko22@hiroshima-u.ac.jp